

平成30年度 施策評価シート

基本目標	IV	安心して暮らせる「すみだ」をつくる
政策	460	安心して子育てができ、子ども・若者が夢や希望をもてるまちをつくる
施策	463	支援が必要な子ども・若者が安心して暮らせるしくみをつくる
施策の目標	虐待の発生を予防するための支援の強化、関係機関による支援体制の確立など、まち全体での虐待防止の環境が整っています。また、困難を抱えた子どもと家庭への支援体制が充実することで、次代を担う子ども・若者たちが、安心して健やかに成長しています。	

1 基本計画における成果指標の状況

指標名	「児童虐待を疑ったときの通報先を知っている」区民の割合									
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標	26.7	29.3	31.9	34.5	37.0	39.6	42.2	44.8	47.4	50.0
実績	26.7	-								
指標名	「子どもに必要な支援が行き届いている」と思う区民の割合									
	基準年 (H28)	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37
目標	45.5	46.6	47.7	48.8	50.0	52.0	54.0	56.0	58.0	60.0
実績	45.5	-								

2 目標と現状(実績)についての分析及び総事業費推移

指標の推移・施策の課題や問題点について記述	総事業費推移 (千円)	
平成28年度に実施された「東京都子供の生活実態調査」のデータ提供を東京都から受け、本区独自の詳細分析を行う。当該分析結果を受けて、「墨田区子どもの未来応援取組方針」を策定し、関係各課において子どもの未来応援(子どもの貧困対策)を推し進められるよう、体制を整えていく。	H28	6
	H29	4,004
	H30	

3 施策の評価及び判断理由

評価	理由
B	平成30年3月15日、区民福祉委員会(平成30年第1回区議会定例会)において、「墨田区子どもの未来応援取組方針」の決定報告をした。

4 今後の施策の運営方針

一次評価	最終評価	施策の戦略的方向性
		(1) 優先的に資源投入を図る。
		(2) 現状維持とする。
		(3) 現状維持だが、より効率的な運営を図る。
○		(4) 資源投入の縮小を図る。
【上記の判断理由】		
「墨田区子どもの未来応援取組方針」に基づき、各課所管事業の中で子どもの未来応援(子どもの貧困対策)についてそれぞれ検討し、同時に、国や都の動きを捉えて新たな制度や補助を活用の上で、対策事業を計画的に進めていく。		
【今後の具体的な方針】		
今後、各課所管事業の中で内容を検証し、必要性の高い取組を実施していく必要がある。		

平成30年度 事務事業評価シート

施策	463	支援が必要な子ども・若者が安心して暮らせるしくみをつくる	部内優先順位					
事務事業	すみだの子ども未来応援事業費					1		
事業概要	平成28年度に実施された「東京都子供の生活実態調査」のデータ提供を東京都から受け、本区独自の詳細分析を行う。当該分析結果を受けて、「墨田区子どもの未来応援取組方針」を策定し、関係各課において子どもの未来応援（子どもの貧困対策）を推し進められるよう、体制を整えていく。					主管課・係（担当）		
						生活福祉課生活支援係		03-5608-6289
施策への関連性	「墨田区子どもの未来応援取組方針」に基づき、各課の所管事業の中で子どもの未来応援（子どもの貧困対策）についてそれぞれ検討し、同時に、国や都の動きを捉えて新たな制度や補助を活用の上で、その対策事業を計画的に進めていく。							
必要性・妥当性	区民のニーズ							
	代替可能性の状況（区が実施する必要性等）							
有効性・適格性	手段に対する指標（活動指標）	指標	「墨田区子どもの未来応援取組方針」を策定する				単位	部
		最終目標値	目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31	
		1	29	目標	-	1		
				実績	-	1		
			H32	H33	H34	H35	H36	H37
			目標					
		実績						
	指標の選定理由及び目標値の理由							
	国や東京都の動きに注目しつつ、柔軟かつ的確に対応して子どもの未来を応援していくため、「墨田区子どもの未来応援取組方針」を策定する。							
	目的に対する指標（成果指標）	指標					単位	
最終目標値		目標年度	基準年(H28)	H29	H30	H31		
			目標					
			実績					
		H32	H33	H34	H35	H36	H37	
		目標						
	実績							
指標の選定理由及び目標値の理由								
財政面〔決算額〕（単位：千円）	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	
	6	4,004						
	H35	H36	H37	〔予算の傾向〕 平成29年度においては、「東京都子供の生活実態調査」の詳細分析業務を委託したため増加した。				

1 必要性・妥当性					
区民ニーズの有無	未把握				
代替可能性の有無	ない				
区が実施すべき強い理由があるか	必須だが裁量余地あり				
判断理由					
子どもの未来応援（子どもの貧困対策）を関係各課において推進していくことは喫緊の課題であり、体制を整えていく必要がある。					
2 有効性・適格性					
事業の目的が施策に合致しているか	合致している				
指標は目標値を満たしているか	満たしている				
かけたコストに対し十分な成果があるか	ある				
判断理由					
平成30年3月、「墨田区子どもの未来応援取組方針」を策定した。今後、本取組方針に基づき、各課の所管事業の中で子どもの未来応援（子どもの貧困対策）についてそれぞれ検討し、同時に、国や都の動きを捉えて新たな制度や補助を活用の上で、その対策事業を計画的に進めていく。		必要性 妥当性	有効性 適格性	効率的 経済性	評価結果
		1	5	3	1
3 効率性・経済性		<p>必要性等が失われたため廃止</p>			
目的・対象が類似する事務事業はないか	類似事業はあるが統合等は望ましくない				
実施工程やコストに改善の余地がないか	ない				
地域社会やその他住民への波及効果があるか	未測定				
判断理由					
中間・最終年度の講評	平成30年3月、「墨田区子どもの未来応援取組方針」を策定した。				
今後の方向性	今後、「墨田区子どもの未来応援取組方針」に基づき、各課の所管事業の中で子どもの未来応援（子どもの貧困対策）についてそれぞれ検討し、同時に、国や都の動きを捉えて新たな制度や補助を活用の上で、その対策事業を計画的に進めていく。				